

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園維持管理				整理番号	656		枝番号					
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	690			
係名		公園整備係				上位施策名		No						
予算事業名		公園維持管理		コード	62700		公園づくり		13					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立公園(296園) 公園予定地(1ヶ所)				(2) 区立公園条例									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区立公園施設の機能を維持するため、施設の補修・維持管理・清掃等を行う。				(3)									
	活動指標名(式) (1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公園の持つ機能を維持することにより、利用者の安全で快適な利用を確保する。									
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 要望処理率(要望処理達成件数 / 要望件数) (2)										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標(1)		m ²	471,748		472,039		472,624		473,207		516,665		
	活動指標(2)		件	1,815		1,594				1,369				
	成果指標(1)		%	99		100				100				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	452,260		466,808		486,046		470,154		505,225	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	328,010		320,776		360,492		361,122		394,125		
	職員数(正規 非常勤)		人	33.05	12.00	33.08	44.80	32.78	43.80	32.50	43.80	31.60		43.80
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	297,252		297,522		294,823		292,305			284,210
		非常勤職員分		千円	33,108		123,603		120,844		120,844			120,844
	総事業費 + +		千円	782,620		887,933		901,713		883,303		910,279		
	単位あたりコスト ÷		円	1,659		1,881		1,908		1,867		1,762		
	財源	受益者負担分		千円	10,333		7,334		7,141		7,757			8,207
		国・都等からの支出金		千円	1,489									
		特定財源計 +		千円	11,822		7,334		7,141		7,757			8,207
差引:一般財源 -		千円	770,798		880,599		894,572		875,546		902,072			
受益者負担比率 ÷		%	1.3		0.8		0.8		0.9		0.9			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		100.1		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%		96.7		
		園地清掃の一部に地域別ブロック方式清掃委託を導入したことで経費が節減された。												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年4月に策定した「杉並区維持管理指針」に基づき、より計画的かつ区民ニーズに合った維持管理を行っている。また、16年度には、検討中であった「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」を新規事業として予算計上し、区と地域住民との協働による地域に密着した公園維持管理運営を図る。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始から、着実に公園数が増加し、15年度末現在296園開設している。一方、畑や屋敷林等緑の減少が進む中、公園は区民にとって身近な緑と触れ合うことのできる憩いの場になっている。このため、公園に対する要望も多く、施設の良好な維持管理、安全対策等迅速かつ確かな要望の対応が課題となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	緑のオープンスペースを確保して欲しいとの要望は多いが、利用者からはゴミの不法投棄、夜間利用による騒音、路上生活者による不正利用等の苦情も多く寄せられている。また、近隣住民の方からは、樹木の剪定及び落ち葉の清掃についての要望が多く寄せられている。
	今後の予測	区民の地域活動への意識が高まり、その活動の場として公園利用が増加している。そこで、16年度より「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」が導入され、区と区民の協働による新たな公園維持管理運営体制が始まる。また、地域の名所となるような公園づくりが求められる中、公園維持管理の多様性、質の向上が求められる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:公園は都市環境の改善、防災、景観、健康・レクリエーションなどの機能を持ち、これを適正に維持管理することにより、機能を最大限発揮する。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容:区立公園を同等に安全で快適な管理を行うためには、各々の役割分担を明確にし、区が主体的に行う必要がある。しかし清掃等の維持管理は、NPO等への委託や平成16年度から実施予定の「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」の導入により、地域住民による自主的な公園等の美化活動を区が支援し、より地域に愛され親しまれる公園等の創出を目指す。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:公園の維持管理は区が主体的に行うものの、区と区民等の役割分担を明確に行い、地域住民による自主的な維持管理活動の支援を行う。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の維持管理は区の責務である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:公園施設の安全・快適の維持管理であり、必要なコストである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区立公園の安全性・快適性の確保について、15年度策定した「杉並区公園維持管理指針」を地域社会の変化に合わせ適宜見直し、より計画的かつ区民ニーズに合った維持管理を行うとともに、各公園の特色を生かした個々の維持管理マニュアルの整備を目指す。また、16年度から実施される「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」制度により、地域住民による自主的な公園等の美化活動を区が支援する体制が整い、将来的には全区立公園での導入を目指す。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 維持管理に係る経費の圧縮により、十分な維持管理及び補修の実施が難しくなっている。そこで、「維持管理指針」を適宜見直し、区と区民等の役割分担を明確にするとともに、16年度実施の「すぎなみ公園育て組」制度を積極的にPRし、より多くの団体が登録し地域の公園等で自主的な維持管理活動ができるよう支援する。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	16年度から導入された園地清掃の地域別ブロック方式清掃委託により、経費節減は行えるものの、区立公園では最大の「柏の宮公園」が開園するため、維持管理経費の増が見込まれる。					

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園の適正利用の指導				整理番号	659		枝番号	2			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221903		連絡先電話番号	3456		昨年度整理番号	692		
係名 公園事業係				上位施策名				No					
予算事業名 公園維持管理				コード				公園づくり				13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 深夜から早朝のサッカーやテニス、花火など不適切な公園利用で迷惑や被害を受けている公園近隣住民等。				(2) 杉並区立公園条例								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 夏休み期間中、夜間の公園警備を委託している。休前日は2人2班体制で苦情の多い公園を中心に40箇所を巡回警備している。また、平日は、2人1班で重点公園の10箇所を中心に巡回警備をしている。				(3)								
	活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区立公園を安全で安心な場所とし、地域の公園として大いに利用されるようにする。								
(1) 夜間警備対象公園数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(2) 夜間警備委託日数				(1) 区立公園数に対する警備対象公園数の比率(代)									
				(2) 年間日数に対する警備委託日数の比率(代)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		18年度	年度			
指標	活動指標(1)		園数	36	38	40	40	20		308	13.0		
	活動指標(2)		日	13	13	45	45	365		365	12.3		
	成果指標(1)		%	12	12	13	13	6		100	13.0		
	成果指標(2)		%	3	3	12	12	100		100	12.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,281	1,391	3,414	3,061	22,260		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 警備委託の日数を増やしたため、夜間の利用指導については警備委託のみで職員の配置は行っていない。			
	(内)委託費		千円	1,281	1,391	3,414	3,061	22,260					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,793	10,793	10,793	10,793	10,793					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	12,074	12,184	14,207	13,854	33,053					
	単位あたりコスト ÷		円	335,389	320,632	355,175	346,350	1,652,650					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	12,074	12,184	14,207	13,854	33,053						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%		89.7				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度の予算増は、夏休み期間中だけの警備委託では住民の要望に届いていけなくなったため、年間委託とし、1日20園を巡回することとした。その内容は、重点公園は毎日巡回、その他の公園は毎日入れ替えながら全公園を巡回することとした。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開始当初の平成12年度は、夏休み期間の一部を警備委託をしていたが、平成15年度は夏休み期間全部が警備委託となっている。この委託日数の増により花火等の苦情が減ってきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公園の深夜、早朝の警備に関する要望は非常に多い。特に駅周辺においては公園の夜間閉鎖の要望も出ている。また、公園にいるホームレスに対する苦情も多くなっている。このようなことから、夜昼関係なく公園警備の要望は多い。
	今後の予測	住民の生活が多様化した現在の都市では地域の安全安心を取り戻す為には、区立公園全部を対象とした巡回警備を行う時期にきていると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：安全で安心なまちづくりに貢献する事業である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由：区の管理する公園の警備事業であるので、区が主体的に行う必要があるが、警備に関しての知識等が無いため、専門の企業に委託をしたほうが効率的、効果的に行える。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容： 治安に関係する事業のため、大きくは町会、自治会の自警団との協働。また、警察との密接な協力も欠かせないが、現在、警備会社への業務委託により、効果が現れてきている。 協働の形態は、夜間警備を100%警備会社に委託している。警備内容は、1日に重点公園(7公園)を含め20公園の巡回警備を委託している。重点公園は毎日巡回している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容： 警備は人の数で成果が左右される仕事である。このため、成果を向上させるには事業費の増加が必要となる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 施設管理者の義務的業務である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)	理由または具体的内容： 他の警備業務と一体化を図る。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の全公園を毎日最低1回は夜間の巡回警備を行うことを目標にする。深夜や早朝については、町会、自治会のボランティアには、無理がある。やはり夜間の警備は区の責任で行う必要がある。区内を複数の地域に分け、そこに委託警備の班を1班ずつ配置する必要がある。地域割をすることで、巡回範囲が狭まり1日の巡回回数が増加するため1園にかかるコストは減少する。目標年度は平成18年度						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業費を増やす必要がある。						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 現在、公園数が308もある区内を1班で巡回警備を行っている。これでは回れる公園の数が少ない。巡回公園数を多くするには、区内を最底でも2地域に分割し、そこに1班ずつを配置する必要がある。これを実施した場合、今までよりも3倍程度は巡回でき、巡回密度も増えると思われる。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		花咲かせ隊				整理番号	660		枝番号	1				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221903		連絡先電話番号	3456		昨年度整理番号	693			
係名				公園事業係				上位施策名		No				
予算事業名				公園維持管理		コード	62950		公園づくり		13			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立公園条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				広報による募集、審査を経て希望の場所を決定する。各「花咲かせ隊」と覚書を締結後、区は花材を提供したりアドバイスをしている。各「花咲かせ隊」はそれぞれ創意工夫しながら花の植付けや花壇の管理をしている。									
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
				(1) 花咲かせ隊への参加団体数		(1) 花咲かせ隊による花壇管理面積								
				(2) 花咲かせ隊の参加による花壇数		(2) 区立公園に対する花咲かせ隊が参加している公園の割合								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		16年度						
指標	活動指標(1)		団体数	40	53	80	68	100	100	68.0				
	活動指標(2)		花壇数	40	53	80	68	100	100	68.0				
	成果指標(1)		m ²	160	212	320	272	400	400	68.0				
	成果指標(2)		%	14	18	27	20	32	32	62.5				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,981	3,534	4,699	3,536	5,811	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 職員数については平成13年度、14年度は公園事業係0.3人各公園緑地事務所で0.1人ずつ計0.5人。平成15年度は公園事業係で0.4人各公園緑地事務所で0.1人ずつ計0.6人。平成16年度は公園事業係で0.6人各公園緑地事務所で0.1人ずつ計0.8人とする。事業費は花壇コンクールと講師謝礼、ボランティア保険料を含んでいる。					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.60	0.60	0.80						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,497	4,497	5,396	5,396				7,195		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 ++		千円	6,478	8,031	10,095	8,932	13,006						
	単位あたりコスト ÷		円	161,950	151,528	126,188	131,353	130,060						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0		
差引: 一般財源 -		千円	6,478	8,031	10,095	8,932	13,006							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	85.0	活動指標(2)の15年度達成率%	85.0	15年度予算執行率%	75.3						
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度予算増は参加団体数を100と見込んだため。 16年度より「すぎなみ公園育て組」を新規に立ち上げた。これは区立の公園をボランティアで清掃、緑化、点検、利用指導などを行ってもらい、それらに必要な器材を提供し区民と区が協働で公園を維持管理していこうという制度。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度からの事業である。当初は20団体であったが、平成15年3月の時点で68団体と増加してきている。また、同じ公園で複数の団体が活動している状況も出現してきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「花咲かせ隊」に関する区民の関心は高い。活動を紹介するパネル展示などでも多くの好意的な意見を頂いている。実際に「花咲かせ隊」が活動する公園の利用者にも好評である。
	今後の予測	「花咲かせ隊」に関する認識の深まりと共に参加希望者も着実に増えてくると予測される。平成16年7月末現在で81団体が登録している。今後、目標の100団体には達すると思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が作る「みどりの都市杉並」の実践事業である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区と区民との協働による事業である。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 個人の団体や町会、自治会も参加し十分に区との協働が図られている。区は花材や道具を提供し、参加団体は、広さ4㎡の花壇にそれぞれ工夫しながら花を育てている。 協働の形態は、区民のボランティア活動に対して区が支援をしている。支援の内容としては、ボランティア保険料の負担、花材及び園芸用具の支給貸与をしている。また、花の育て方の相談も行っている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 今以上に成果をあげるためには、参加団体の数を増やし、さらに1団体当りの花壇面積を増やす必要がある。そうすると花材の提供量も増加してくる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: この事業は区と区民の協働であり受益者負担を考えるべきでない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 現在は1年草を中心に花材の提供を行っている。多年草を中心に花材の種類を増やしていくことも必要である。ただ、参加者の希望が1年草に多いのも事実である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度に立ち上げた「すぎなみ公園育て組」(里親制度)の推移を見ながら、「花咲かせ隊」と「すぎなみ公園育て組」とを効率的に結びつけていくことが重要となる。この二つの活動を融合することで、効率的に事業を進めていくことができる。また、広く公園管理について地域住民と取り組むことができ、区主体の公園管理から住民との協働による、その地域にあった特色ある公園づくりが進められる。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 当面の区の執行体制の中で効果的と想定される100箇所での活動を推進し区内全域で1000人規模の区民参加を実現する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立公園事務所の管理運営				整理番号	660		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221901	連絡先電話番号	3442		昨年度整理番号	693		
係名 管理係					上位施策名				No			
予算事業名 公園緑地事務所維持管理					コード	57100		公園づくり			13	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 47 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 公園緑地事務所(2所)、公園管理事務所(6所)				(2) 杉並区立公園条例 杉並児童交通公園等の管理運営に関する規則、大田黒公園の管理運営に関する規則、井草森公園駐車場の管理運営に関する規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 公園緑地事務所および公園管理事務所の運営管理を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公園緑地事務所および公園管理事務所の運営管理を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。							
	活動指標名(式) (1) 対象事務所数 (2) 対象管理面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)							
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%
					計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		園	3	8	8	8	9				
	活動指標(2)		m ²	3,381	5,650	5,650	5,650	6,505				
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,525	21,497	23,319	21,879	30,466		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	7,599	7,487	10,232	11,312	9,441				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40 19.00	1.30 5.60	1.30 5.60	1.30 5.60	1.30	5.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,598	11,692	11,692	11,692	11,692				
		非常勤職員分	千円	52,421	15,450	15,450	15,450	15,450				
	総事業費 + +		千円	67,544	48,639	50,461	49,021	57,608				
	単位あたりコスト ÷		円	22,514,667	6,079,875	6,307,625	6,127,625	6,400,889				
	財源	受益者負担分		千円	10,333	2	9	142	142			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	10,333	2	9	142	142			
差引:一般財源 -		千円	57,211	48,637	50,452	48,879	57,466					
受益者負担比率 ÷		%	15.3	0.0	0.0	0.3	0.2					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%		93.8	予算額と比較し、光熱水費(特に電気料金)及び事務経費(一般需要費)の支出が低く押さえられたため。昨年冷夏だったこと、原発停止に伴う電力消費節減、ISO14001の的確な遂行などが要因として考えられる。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			予算の増額について: 柏の宮(かしのみや)公園の開園に伴い、管理事務所を開設することによる経費増(半年分)。前年度の改革案の取り組み状況: 前年度の評価表では、事務改善の遂行、費用対効果を意識した運営といった、一般的な方策を示すことにとどまっているが、実際には全庁的に始まった目標管理制度の中で、課・係・職員一人一人が目標を具体的に設定し、これに基づいて職務を遂行している。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園の管理を円滑に行うため、東・西・南・北公園事務所を発足させ、公園の不具合や要望等に速やかに対応できるよう組織の整備を図った。その後、公園事務所と土木事務所との統合、公園事務所間の統合を経て、現在南北2つの公園緑地事務所が区立公園等の管理を行っている。また、杉並児童交通公園を初めとして、比較的大規模な6つの公園に管理事務所を設置し、細やかな管理を行っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民から出される意見要望は、公園施設利用や公園の管理状態(清掃等含む)に関するものが大半であるが、職員の対応について要望が出ることもある。6つの公園において、毎月、利用者からアンケートを取っているが、概ね評価は良好である。
	今後の予測	公園は、都市環境の改善、景観、レクリエーション機能を持ち、また災害時には、避難場所等の防災機能も持っている。公園緑地事務所・公園管理事務所は、これら公園の適切な維持管理を行うことで、区民が安心して暮らせる都市環境づくりにつながることから、今後も緑地事務所等への役割や期待は大きい。また、管理事務所の機能として(公園施設管理のみならず)、公園利用や遊びの指導を望む声があることから、管理事務所の役割も更に拡大することが予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:公園緑地事務所及び公園管理事務所は、安全で利用しやすい公園にするための保全活動や、法令等に基づいた適切な公園利用を進めるための業務実施部門であり、区民からの要望対応や公園利用の際の許認可等において、庁内の各係と連携しながら公園維持管理業務を行う第一線の職場である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:公園の適切な管理(利用指導を含む)を行うためには行政が主体となって業務を実施すべきである。しかし、設備の点検業務は、資格や技術面で専門業者に委託せざるを得ない。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:公園の適切な管理(維持管理と利用指導等)を行うためには、現状においては、直営職員(嘱託員)を事務所に配置し、緑地事務所・本庁と緊密な連絡をとる必要がある。公的施設の維持に掛かる経費負担(光熱費等)は、施策・事業執行とは異なり、事業体の活動経費そのものである。その他の経費は、主に専門の知識を必要とする設備点検等である。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 限られた予算の中であっても、公園緑地事務所、公園管理事務所ともに、現場の状況に応じて、職員が自発的に創意工夫をこらした対応を行っている。このような自主的活動の継続が、維持管理業務そのものであって、活動費(事業費)の増減に必ずしも比例関係にあるわけではない。しかし、より成果を上げるためには職員の士気を一層高めていくことが必要である。つまり、管理部門からの支援の強化、現場の要請に応じた一定程度の事業費の増額が望まれることは言うまでもない。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事務所管理人室の光熱水費及び私用電話使用料という、実費(相当額)の負担のみであり、見直しの余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容)	理由または具体的内容:公園管理事務所にスイッチパソコンを導入することにより、事務連絡の迅速化・緊密化、管理事務の効率化が図れる。いわゆる事務の生産性向上であるが、これは単位作業当りのコストダウンといえることができる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 コストを下げる要因として上記に取り上げた「公園管理事務所へのスイッチパソコンの導入」を関係各方面に働きかけ、早期に実現させる。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 阻害要因:回線の敷設及びその維持コストによる経費増。また電子網構築部門の設置計画における施設別設置優先順位等の考え方の違い。克服方法:全庁全体で電子区役所の構築を進める中、現場の最前線組織である出先事業所に電子網が構築されないことは、人間の体に例えれば、末端の組織に血が通わないことを意味する。公園緑地課においては、管理事務所の役割が大きくなるなか、管理部門・管理事務所相互・公園緑地事務所の連携強化がますます求められるようになってきているが、管理事務所にスイッチ回線網が構築されていないことから、情報伝達の遅れ・事務処理における効率化を阻む要因となっている。情報網構築部門及び企画・財政部門関係者に強く早期設置を求めていく。						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 柏の宮(かしのみや)公園の開園に伴い、管理事務所を設置するため、維持管理経費が増(通年分)となる。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		遊び場対策				整理番号	662		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	694	
係名		公園整備係			上位施策名				No		
予算事業名		遊び場対策		コード	63100		公園づくり				13
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				46 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 先行取得用地の活用と管理について						
	区立遊び場(16ヶ所)				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 先行取得用地、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用し、区立公園の補完施設に位置付け、一時遊び場として開放し、その施設維持管理・清掃などを行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 遊び場の持つ機能を確保し、利用者が安全で快適に利用する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 遊び場管理面積				(1) (代) 要望処理率(要望処理達成件数 / 要望件数)							
(2) 区民要望件数				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		m ²	13,266	13,003	41,953	41,052	41,052			
	活動指標(2)		件	59	27		57				
	成果指標(1)			99	100		100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,707	10,012	28,819	26,641	26,703	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	8,833	6,105	23,680	22,749	22,137			
	職員数(正規 非常勤)		人	2.80	1.62	1.82	2.13	2.13			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	25,183	14,570	16,369	19,157	19,157			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	38,890	24,582	45,188	45,798	45,860			
	単位あたりコスト ÷		円	2,932	1,890	1,077	1,116	1,117			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	38,890	24,582	45,188	45,798	45,860				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%		97.9	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%		92.4		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を検討し、1.区立公園化 2.遊び場として存続3.土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討をする。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公園整備が急がれていた昭和46年当時、公共施設建設などのために先行取得した用地を一時公園の補完施設として活用していた。その後、民有借地などへ拡大してきたが、開設が長期化している。また、現存の遊び場は、本格整備が行われないうまま老朽化が進んでいる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近くに子供が安心して遊べる場所があるのは好ましい。狭く小さな遊び場に対して、近隣住民からは、騒音などの苦情が多い。また、身近な公園の設置状況が不足している地区においては遊び場から区立公園への変更を求める声もある。
	今後の予測	今後、地主の相続等による返還の申出が多くなると予測される。また、長期化した施設のため、公園化の要望が多くなると考えられる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 区立公園も一部地域を除き適正な配置状況に近づいており、区立公園を補完するための遊び場の存在意義が薄れてきている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容: 民有地等は区に貸すことを条件としているため、安全な遊び場としての機能を保つため、設置者である区が主体的に管理する。しかし、清掃等はNPO及び企業への委託や平成16年度から実施予定の「すぎなみ公園育て組(公園等里親制度)」の導入による区民との協働を目指す。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 維持管理は区が主体的に行うものの、地域住民による自主的な維持管理活動には支援を行う。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 遊び場の利用に受益者負担の考えをとっていない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 遊び場施設の維持管理であり、必要なコストである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用状況、土地の権原、周辺の公園緑地の配置状況等を見ながら、1. 区立公園化 2. 遊び場として存続 3. 土地の返還にそれぞれ分け、再整備等の検討を行う。遊び場として存続する際は、施設の老朽化から安全性、快適性などを確保するため、維持管理のあり方を見直す。また、遊び場は公有地の先行取得用地を除き段階的に縮小する。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	施設の安全性、快適性などへの区民要望に応えるため、よりきめ細やかな維持管理をする必要がある。同時に、中長期的な視点にたち、今後の課題を検討する。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		(仮称) 柏の宮公園の整備				整理番号	665		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	697	
係名 公園整備係					上位施策名				No		
予算事業名 地域公園整備					コード	63250		公園づくり			13
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (仮称) 柏の宮公園				(2) 地方自治法第281条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 12年度 用地買収。ワークショップによる計画づくり。 13年度 設計。区民参加による計画づくり。 14年度 第一期整備工事。区民参加による管理運営方法の検討。 15年度 第二期整備工事。区民参加による管理運営の検討推進。 16年度 供用開始。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 現在の魅力ある自然を守り育て、豊かなみどりを享受できるとともに、あらゆる年齢層がレクリエーションを楽しめる場を作る。また、防災機能向上にも資するものとする。						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 当該年度公園用地取得面積				(1) 当該公園用地取得累計面積							
(2) 公園づくりにおける区民参加型会議の開催数				(2) 区立の防災公園数							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		16年度	16年度			
指標	活動指標(1)	m ²	30,951	3,983	3,944	3,944	3,907	43,458	9.1		
	活動指標(2)	回	6	28	30	36	20				
	成果指標(1)	m ²	31,623.91	35,607.10	39,551.97	39,551.97	43,458.30	43,458.30	91.0		
	成果指標(2)	園	3	3	3	3	1	4	75.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,420,652	1,444,584	1,310,012	1,305,027	1,200,032	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	21,518	28,000	240,951	221,378	134,485			
	職員数(正規 非常勤)		人	2.07	2.80	1.88	2.00	2.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	18,618	25,183	16,909	17,988	22,485			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	8,439,270	1,469,767	1,326,921	1,323,015	1,222,517			
	単位あたりコスト ÷		円	272,666	369,010	336,440	335,450	312,904			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	8,393,117	1,420,012	1,046,000	1,274,856			1,046,000
		特定財源計 +		千円	8,393,117	1,420,012	1,046,000	1,274,856			1,046,000
差引: 一般財源 -		千円	46,153	49,755	280,921	48,159	176,517				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%	120.0		15年度予算執行率%	99.6		
		第二期造成工事は15年6月より16年9月の工期で発注し、16年3月に中間払いを行った。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		公園の管理運営を検討する分科会(自然の会・遊びの会・施設の会)が引き続き活動し、区民主体で今後の活動方針等公園管理にかかわる問題の検討会を各会及び全体会合わせて36回行った。16年度事業費には開園式にかかわる経費および初度調弁のための経費が含まれている。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公園の計画づくりから管理運営にいたるまで、区民参加で考える意識が高まってきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	今の魅力ある自然を守って欲しい。 子供から高齢者まで、自由に利用できる公園にして欲しい。 防犯上、安全で、安心して使える公園にして欲しい。
	今後の予測	公園整備は平成16年秋に完了。開園に伴い、区民参加による管理運営も具体的に活動を開始し、地域に根ざした区民との協働による公園管理運営が実現する予定である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか	理由: 公園として整備することにより、貴重なみどり・魅力ある自然を守り、引き続き災害時の避難場所を確保でき、さらにはレクリエーションの場を得ることができるため、区民福祉の向上に大きく貢献している。
	貢献度 大(理由)	
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は	理由:
	行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容: 都市公園は国または地方公共団体が行うべきであり、面積10ha未満の公園整備は区が主体となって実施するものである。ただし、計画づくり、管理運営に対して一般区民、NPO等参加により協働で行うことは推進すべきであり、(仮称)柏の宮公園の整備においては区民主体の分科会等の意見を参考にして事業を行っている。
	一部実現している(^)	
	協働等の相手	
	NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態	
	その他(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	理由または具体的内容: 厳しい財政状況の中、必要最小限の整備を行っているためこれ以上の成果を期待できない。
	できない(理由)	
	成果向上のための方策	
	(4) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であり、地域公園の整備は区の責務であるため。
	ない(理由)	
	(5) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容: 既存の自然環境やクラブハウスなどの施設を極力活用し、保安・交通上の安全確保、バリアフリー化、雨水処理対策など必要最小限の整備を行い、供用を開始する。なお、その後の整備については管理運営をふまえ、段階的に改善を図っていく。
	ない(理由)	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入						
	公園の開園(平成16年度)までに、管理運営についての区民主体による柏の宮公園運営の会が発足する。開園後、「すぎなみ公園育て組」として協定を結び継続して、本公園の管理運営にかかわっていく準備をすすめている。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法							
区民参加による公園づくり及び管理運営のかかわり方については、意見の集約に時間がかかる等難しい問題が多い。職員がワークショップ等の経験やノウハウを習得する必要がある。また、区民が主体的に関われるような意識を高めることのできるプログラムや、子供から高齢者までの色々な世代が参加できるような方策を探る。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成16年度で事業が終了するため。					

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身近な公園整備				整理番号	666		枝番号	
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	
係名					公園整備係		上位施策名		No	
予算事業名					ふれあい公園整備		コード		63350	
					公園づくり				13	
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第281条			
	区立公園						(3) 杉並区立公園条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区民1人あたり1.5㎡(平成30年)の公園面積を目標に身近な公園を整備していく。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			
						身近に区民が憩いふれあう魅力ある場をつくりだす。				
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
(1) 当該年度に造成した身近な公園数						(1) 身近な公園整備率 = 設置園数 ÷ 設置目標数 (10公園)				
(2) 当該年度に整備した身近な公園面積						(2) 身近な公園取得面積率 = 取得面積 ÷ 取得目標面積 (15580㎡)				
指標	区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		22年度		
	活動指標(1)	園		2	1	4	0	10	40.0	
	活動指標(2)	㎡		245	415	1,166	255	15,580	7.5	
	成果指標(1)	%		20	10	40		100	40.0	
成果指標(2)	%		2	3	7		100	7.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円			116,265	114,072	8,073	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 公園整備については、身近な公園整備として一本化し代表的予算事業ふれあい公園整備として全体を評価した。15年度実績には、開発行為等により杉並区に提供された三谷西緑地(185.95㎡)、和田十貫坂緑地(216.35㎡)およびまちづくり用地(はだしのオアシス)から都市公園と位置付けを変更した善福寺さくら公園(348.81㎡)を含む。	
	(内)委託費		千円			23,732	21,783	8,057		
	職員数(正規 非常勤)		人			1.95	1.95	1.95		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	17,538	17,538	17,538		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	133,803	131,610	25,611		
	単位あたりコスト ÷		円	0	0	133,803,000	32,902,500			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	133,803	131,610	25,611			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	400.0	活動指標(2)の15年度達成率%	281.0	15年度予算執行率%	98.1		
			高円寺谷中緑地の整備・ひかり公園拡張整備・成田かっぱ公園用地取得 (仮称)読書の森公園計画づくり(ワークショップ)							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			(仮称)読書の森公園整備事業は16年度より景観まちづくり事業としてまちづくり推進課の所管事業に移行した。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「みどりの都市」杉並としては、区民に安全で親しみを持てる公園として、公園を充実していくことが求められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	空き地や駐車場などの用地を公園として買収してほしいという要望がある。
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化に伴い、今後、公園施設の必要等に対する要望などが見込まれる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民1人当りの公園面積を少しでも増やすことができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 区民が満足できる公園を提供していくのは、施設管理者である区の責務である。ただし、計画づくり、管理運営に対しては一般区民、NPO等の参加により協働で行うことは推進すべきであり、(仮称)読書の森公園基本計画づくりにおいてはワークショップ方式による区民参加での計画づくりを実施した。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 用地買収などが伴う場合がある。また、新規に公園を整備するので事業費がかかる。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園の管理者である区の責務であるため、見直し余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 新たな施設を設置するため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 身近な公園整備目標は1.5㎡/人(平成30年)であるが、現在、0.62㎡/人程しかなく、今後も拡大していかなければならない。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 用地の確保が財政の面からも難しい状況にある。他のまちづくり事業との併用、緑化重点地区の指定等により補助金が充当できるような方策が必要である。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 区民1人当りの区立公園面積は、杉並区平均で0.91㎡しかなく、充足しているというにはほど遠いため、事業を大幅に拡大していかなければならない。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公園改修				整理番号	667		枝番号			
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902		連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	698	
係名 公園整備係					上位施策名					No		
予算事業名 公園改修					公園づくり					13		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 都市公園法							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区立公園				(2) 地方自治法第281条							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 老朽化した区立公園において、施設などを見直し改修する。				(3) 杉並区立公園条例							
	活動指標名(式) (1) 当該年度改修公園箇所数 (2) 改修公園累計数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設などを見直し改修することにより、区民にとって安全で魅力的な公園にリフレッシュする。							
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 公園改修率 = 改修公園累計数 ÷ 公園改修予定数 (29公園) (2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		22	年度			
指標	活動指標(1)		園	2	2	2	2	2				
	活動指標(2)		園	2	4	6	6	8	29	20.7		
	成果指標(1)		%	6.9	13.8	20.7	20.7	27.6	100.0	20.7		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,974	54,884	30,020	29,275	23,703	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	735		29,980	29,243	23,595				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.25	1.70	1.20	1.20	1.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,249	15,290	10,793	10,793	10,793				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	20,223	70,174	40,813	40,068	34,496				
	単位あたりコスト ÷		円	10,111,500	35,087,000	20,406,500	20,034,000	17,248,000				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	20,223	70,174	40,813	40,068	34,496					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	97.5	公園の改修計画どおり実施した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公園を設置してから、かなりの年数が経っている公園が多い。また、傷んでいる遊具等が多く、部分改修では収まらない公園が増えている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全に利用できる遊具の維持管理や砂場の衛生管理等の要望がある。
	今後の予測	老朽化した公園が大変多く、計画規模の充実が必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:老朽化した既存施設を見直すなどして、安全性の向上や公園の魅力付けができ、公園のリフレッシュが果たせる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容:事業が老朽化した施設、危険な遊具の改修等が主体のため、施設管理者である区が設計し、企業に工事を委託している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:公園の老朽化に1年で2園の改修ペースでは追いつかない。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であることや、公園の管理者である区の責務であるため、見直し余地はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:老朽化した既存施設を見直すなどして、新たな施設を設置するため、コストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区内の公園は、設置年度が古いものが多く、施設がかなり老朽化している。特に球戯場・複合木製遊具などは、腐食しているものが多く子供にとって大変危険であり改修していかなければならない。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 実施計画に基づき、1年に2園づつの改修を予定しているが、老朽化が進み危険度が高い公園については早急な対応が必要						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特色ある公園づくり				整理番号	669		枝番号		
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	699	
係名					公園整備係		上位施策名			No	
予算事業名					公園改修		コード	63500		公園づくり	13
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第281条				
	区立公園				(3) 杉並区立公園条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
既存の公園に、ある種の付加価値をつけて、今以上の魅力を引き出すことを目的とする。				公園を特色ある公園として再整備することにより、地域に密着した、より区民に愛され、魅力ある公園を創出する。そして、区民の公園に対する関心を向上させる。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 当該年度整備した木と花のコースの数				(1) 整備した木と花のコース整備率 = 整備した木と花のコースの累計数 / 整備予定数							
(2) 整備した木と花のコースの累計数				(2)							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
				計画	実績		22	年度			
指標	活動指標(1)	コース	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5				
	活動指標(2)	コース	1.5	3.0	4.5	4.5	6.0	15	30.0		
	成果指標(1)	%	10	20	30	30	40	100	30.0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,703	4,305	6,012	5,565	6,012	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円			6,000	5,565	6,000			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20	0.60	0.60	0.60	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,793	5,396	5,396	5,396	5,396			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	15,496	9,701	11,408	10,961	11,408			
	単位あたりコスト ÷		円	10,330,667	6,467,333	7,605,333	7,307,333	7,605,333			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	15,496	9,701	11,408	10,961	11,408				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	92.6	計画通り、木になる巡り会いコース(実のなる木)を井草地区(柿木北公園 四宮森公園 四宮公園 上瀬戸公園 道灌箸公園 切通し公園 道灌公園 三谷南公園 今川三丁目公園 今川二丁目公園 今川一丁目公園 柿木公園)で1コース、自然との花し会いコースを西荻地区に0.5コース整備した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区民ニーズの変化に伴い、既設公園にある種の付加価値をつけて、区民に親しまれる公園として、再整備することが求められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	あまり使われていない公園がある。 今ある貴重なみどりを守って欲しい。 子供だけでなく、高齢者も自由に、また、気軽に利用できる公園が欲しい。 防犯上、安全で安心して使える公園にして欲しい。
	今後の予測	余暇の拡大、価値観の多様化、及び生活習慣の変化に伴い、公園に対する区民の関わり方・要望などが多岐にわたることが見込まれる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼		理由:みどり・自然の確保、災害時及びレクリエーションのためのオープンスペースの確保など公園の存在価値は高いが、それ以上に多くの人に活用される公園づくりを進めることで、公園を活性化させる効果がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^) ▼		理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼		理由または具体的内容:区民が創る「みどりの都市」杉並を推進していくための手段として、区が率先して特色ある公園づくりを進めていく立場にあり、区が設計し、企業に工事を委託している。また、区民にも参加してもらい植樹等を行った。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^) ▼		
	協働等の主な形態 その他(具体的内容) ▼		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) ▼		
成果向上のための方策 ▼			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼		理由または具体的内容:受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の整備は区の責務であるため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由) ▼		理由または具体的内容:計画では、1コースあたり10園を基準としたが、今回12園で構成した。最小の経費で実施しているのが現状でコストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後の特色ある公園づくりにおいては、区民が何らかの形で関わられるようなプログラムを探り、実践する。そして、今後の管理運営についても引き続き関わっていただけるように誘導する。また、区民のこの事業に対する認知度が低いと、PRの方法、イベントの開催等を検討していく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当初、区民が花、木の植付けなどに参加しても、その後継続して水やり、除草などに関わっていくことが難しい。区民が継続して参加できる方法を検討する必要がある。また、認知度を高めるために、数コースの整備が完了した段階でパンフレットの作成、イベントの開催などを検討する。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	特色ある公園づくりを区と区民の協働で推進し、積極的に区民が管理運営にまで関わるようになれば、公園に対する区民の愛着も高まる。そのことが地域のコミュニティの形成・向上につながるため、ますます推進していかねばならない。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域の名所づくり				整理番号	670		枝番号				
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221902	連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	700			
係名					公園整備係			上位施策名		No			
予算事業名					公園改修			コード		63500			
					公園づくり					13			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 都市公園法						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 地方自治法第281条						
	区立公園(7園)				(3) 杉並区立公園条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
既設公園に新しい花空間を創出し、1地域に1ヶ所の花の名所となるような公園を整備する。				公園を花の名所として魅力ある場に再生することにより、地域に密着した、より区民に愛され、魅力ある公園を創出する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 花の名所整備箇所数				(1) 花の名所整備率 = 花の名所整備箇所/対象公園数									
(2) 花の名所づくりに何らかの形で参加した区民の数				(2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	15年度	年度					
指標	活動指標(1)		箇所	3	2	2	2			7	28.6		
	活動指標(2)		人	358	150		75						
	成果指標(1)		%	42.8	71.4	100.0	100.0			100.0	100.0		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,140	22,050	26,146	24,883	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円			25,000	24,864						
	職員数(正規 非常勤)		人	1.65	1.67	1.20	1.20						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	14,840	15,020	10,793	10,793	0				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	42,980	37,070	36,939	35,676	0					
	単位あたりコスト ÷		円	14,326,667	18,535,000	18,469,500	17,838,000						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0					
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	42,980	37,070	36,939	35,676	0						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	95.2					
			計画どおり2地区で名所づくり整備を区民参加で行った。 高井戸藤が丘公園 小学校児童と樹名板の作成(参加者25名) 梅里中央公園 住民と植樹祭(参加者50名)										
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	13年度から15年度までに7園の名所づくりを行い、15年度にて事業は終了。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	あまり使われていない公園がある。 今ある貴重なみどりを守って欲しい。 子供だけでなく、高齢者も自由に利用できる公園が欲しい。 防犯上、安全で安心して使える公園にして欲しい。
	今後の予測	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: みどり・自然の確保、災害時及びレクリエーションのためのオープンスペースの確保など公園の存在価値は高いが、それ以上に多くの人に活用される公園づくりを進めることで、公園を活性化させる効果がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 区民が創る「みどりの都市」杉並を推進していくため一つの手段として、区が率先して花の名所づくりを進めていく立場にあるが、区民も参加できることもある。そのことにより、親しみが持て、より魅力のある公園にすることができる。「地域の名所づくり」事業として、小学校児童による樹名板作成、区民参加の植樹祭等を行った。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 区民の要望等を把握し、区民のニーズに合った公園にすることで、より魅力のある公園を創出できる。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益の対象が不特定多数の区民であり、公園の整備は区の責務であるため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 花の名所と呼ぶにふさわしい公園とするには、ある程度の植栽規模・ボリュームが必要であるため、これ以上植栽面積を縮小した場合、名所としての効果が薄れる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 15年度事業終了。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公衆便所の維持管理				整理番号	671		枝番号							
担当部課名		都市整備部公園緑地課		コード	221907		連絡先電話番号	3442		昨年度整理番号	701					
係名				管理係		上位施策名				No						
予算事業名				公衆便所維持管理		コード	64900		公園づくり		13					
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		28年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区公衆便所条例									
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)									
	区立公衆便所17所				(3)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。											
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) 公衆便所数				(1) 代公衆便所のバリアフリー率 = バリアフリー化された便所数 ÷ 公衆便所数												
(2) 定期清掃回数(年間延べ回数)				(2)												
区分	単位	13年度実績		14年度実績		15年度計画		15年度実績		16年度計画		目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度						
指標	活動指標(1)		所		17		17		17		17					
	活動指標(2)		回		4,870		4,870		4,870		4,870					
	成果指標(1)		所		53		53		53		53					
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円		17,440		14,750		15,943		14,855		16,161		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円		12,954		11,477		12,048		10,978		12,011			
	職員数(正規 非常勤)		人		1.51 0.00		1.51 0.00		1.51 0.00		1.51 0.00		1.51 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円		13,581		13,581		13,581		13,581		13,581		
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円		31,021		28,331		29,524		28,436		29,742			
	単位あたりコスト ÷		円		1,824,765		1,666,529		1,736,706		1,672,706		1,749,529			
	財源	受益者負担分		千円		0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円		0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円		31,021		28,331		29,524		28,436		29,742				
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)				活動指標(1)の15年度達成率%		100.0		活動指標(2)の15年度達成率%		100.0		15年度予算執行率%		93.2		
				公衆便所の設置状況や利用者数を想定し、経費の投入に関し、費用対効果を考慮しながら、予算執行を行っている。												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)				昨年度は17所のうち、地域別ブロック方式の清掃に組み込んでいたのは、11所であったが、今年度は全所を組み込むことにより、さらに清掃費用の削減を図っている。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和49年4月に17カ所の区立公衆便所を供用を始めた。その後は、区立公園の公園施設として、公園便所の設置が進み、単独施設としてのいわゆる「公衆便所」の新設は行われていない。また、公衆便所のバリアフリー化は、全公衆便所の約半数となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民からの意見としては、「トイレが常に清潔で使いやすい状態にあること」といった、日常の管理面に対する要望が多勢を占める。その他、高齢者や障害者など、身体機能に支障がある人を含め誰でもが使いやすく・安全な施設であるよう、改修や新設を望む声がある。
	今後の予測	公衆便所の設置目的及び機能は、将来も変わるものではない。しかし公園便所により、代替もしくは補完されるものでもある。よって、公衆便所の新規増設は、公園の計画的開設に伴う公園便所の増加により、同様に補完されることから、公衆便所単独での新規設置はないことが予想される。既存施設の適切な管理と快適性を向上させる改修、及び未バリアフリー施設への対応が主な課題となる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 快適なまちを保持するため、又、まちの環境美化のため、公衆便所の存在は不可欠である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 公衆衛生に係る施策については、当面の間、行政が主体的に対応すべき分野である。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 日常の維持管理(清掃業務)については、民間の業者に委託済みである。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 日常の維持管理および必要最低限の修繕等に対応する予算のみのため。今後、バリアフリー化を進めるためには、相当額の経費支出が見込まれるので、予算確保を含めた計画的な整備体制を整える必要がある。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 公衆トイレの有料化や、トイレ紙の有料化は、誰でもが気軽に利用できる施設を提供するという観点からいうと、現時点では時期尚早である。また、有料施設として提供するためには、それ相当の施設整備、維持経費がかかり、トータルコストを算出した上で検討することが求められる。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 衛生的で清潔な施設を供用するための必要最低限の経費である。コスト低減方策として、ブロック清掃に組み込むことにより、委託経費を削減する対応は実施済みである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 バリアフリー化していない既設の8箇所について、今後、計画的な改修が必要である。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 阻害要因: 全庁的な財政難および行財政改革の中での予算(改修経費; 1所当り1千万円)の確保。 公園整備に比べ、優先度が低くなっている「公衆便所整備(改修)」の政策・施策上のポジション(現状維持+) 執行体制 克服方法: 区の優先(重点)施策(地域開発計画、防犯強化地区計画等)がある場合で、当該地域内に未改修公衆便所がある場合は、策定の時点で総合的計画の一環として、公衆便所整備を計画の中に盛り込む。 公園便所を兼ねている公衆便所については、位置付けを見直し公園改修計画の中に統合する。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	事業を取り巻く環境に、特に大きな変化がないことから。	